

「ありきたりの人生」や、「何たり前の人生」なんて、ひとつもないと思います。
これまで何人か、インタビューさせてもらいました。
半生をお聞かせいただくことも多くありました。
この経験を通して、はっきりと、そう思うようになったのです。
どんな人の人生も、唯一無二で、それぞれにドラマがあります。
けれど、あらためてそれを話したり聞いたりする機会は、
近い同僚同士でも意外とないものです。
記念写真を撮るように、文章で残してみるのはどうでしょう。
インタビューとして残らせていただくことで、
書くのが苦手な方や、どこから手をつけていいかわからない方にも、楽しみながら残ることができます。

@じぶんインタビューとは？

あらゆるインタビューして、記事として提供する。はなとび出版のサービスです。記事が何れにも、公開してもいいし、自分だけのものにもできるし、新しい人とだけ共有することもできます。インタビューは世に広まっていますが、実際に使っている人は、少し少ないと思います。記事が公開されたら、知らない自分から読まれるという感覚も、よく聞かれます。インタビューをやるにしても、自分の価値観を伝えることができるので、「じぶんインタビュー」とも呼ばれます。

こんなと質問

- 記事とは、どこまで公開するの？、いま自分の気持ちも話していいの？
- 子どもが生まれた、この気持ちも何年後の子供に伝わるように話したい
- 言葉も話すと、読者への感謝も込めて、自分の半生を語りたい
- 自分が元気づけたい、読者の励みも話していいの？
- 自分自身の成長の軌跡、言葉からアフィリエイトしたい
- 記事のことからいって、自分の子どもに伝えることも話していいの？
- 記事の公開のタイミング、読者1人を取り巻く環境も話したい
- 「インタビューとは何？」、インタビューへの関心とその動機について話したい
